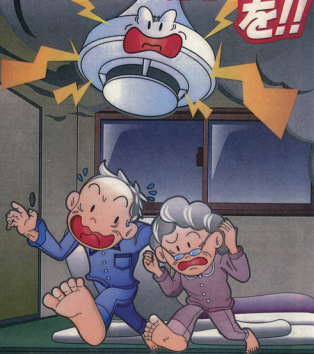


すべての住宅に 住宅用火災警報器

財団法人 日本消防設備安全センター
住宅防火対策推進協議会

を!!



◎消防法により設置が義務づけられています。
※設置住宅には、市町村の火災予防課等により適用時期が異なります。

平成23年5月末までに設置を!!

- ☆購入はホームセンター、電器店等で、取付は簡単。
- ☆ガス会社等のリース制度もあります。
- ☆町内会等で共同購入すれば、経済的で安心。

トラブル急増中! 悪質な訪問販売等にご注意!!

消防署や市区町村が、直接「住宅用火災警報器等」を訪問販売することはありません。また、特定の業者に商品を斡旋したり、販売を依頼することはありません。



購入でのトラブルは、お住まいの地域の消費生活センター等にご相談ください。
住宅用火災警報器、住宅用消火器等はクーリング・オフ対象商品です。

購入の際は、この「鑑定マーク」を目安にしてください。



日本の法令に適合することを日本消防検定協会が保証するものには、「鑑定マーク(NSマーク)」がついています。
※マークの付いている場所が随時変更となります。

機器購入に関するお問い合わせはこちらに

住宅防火対策推進協議会
<http://www.jubo.go.jp/index2.html>

ホームページにあるお問い合わせフォームをご覧ください。

住宅用火災警報器に関するお問い合わせは、「住宅用火災警報器相談室」へお気軽にご相談ください。

0120-565-911

受付時間：月曜から金曜まで午前9時から午後6時
(12月31日(祝)を除く) (土、日及び祝祭日を除く)

ご相談は

最寄りの消防本部・消防署・分署・出張所へ

<http://www.shibata-kuuki.jp/119/>

住宅防火安心マーク

住宅用火災機器等のうち、構造、性能等に係るガイドライン等の推奨基準に適合するものには、統一の住宅防火安心マークを付して、購入の目安としております。



住宅防火安心マーク

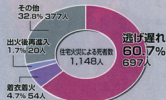
住宅用火災警報器を設置しましょう!

住宅用火災警報器が煙や熱を感知して、警報音や音声で火災発生を知らせます。

住宅火災の実態

「逃げ遅れ」により
多くの方が亡くなっています!

住宅火災で死に至った原因



設置による効果

住宅用火災警報器等の設置により
3分の1程度に減少しています!

住宅用火災警報器等の設置の有無で見た
住宅火災100件当たりの死者数



設置する場所

子供部屋や高齢者の居室と、
就寝に使われている部屋には取付けましょう。



● 寝室・階段への取付けは義務付けられています。

● 台所・居室への取付けもおすすです。※市町村の火災予防条例で取付けが義務付けられている場合があります。



※市町村の火災予防条例によって義務設置場所、設置時期が異なる場合がありますので、最寄りの消防本部、消防署に確認しましょう。

事例1 寝たばこから火災発生!



寝たばこにより火災が発生し、警報器が煙を感知しました。警報音で本人が目覚まし、ふとんに水を掛けて消火したので、大事に至りませんでした。

事例2 天ぷら油が燃え出して!



天ぷら油を加熱したまま、その場を離れたため、鍋から火が上がると警報器がその煙を感知しました。警報音に気付いた居住者が、初期消火と119番通報を行いました。

事例3 ローソクの火が燃え移って!



2階居室で就寝していた男性は、1階にある祖母の部屋の警報器の鳴動に気づき、1階におりると仏壇から炎が上がっているのを見、水道水を掛けて消火しました。

事例4 こたつが燃え出して!



入浴準備中、煙と焦げ臭い臭気とともに警報器の鳴動に気づき、居室に行くことこたつから炎が上がっていました。すぐに初期消火しました。